

Title: Parametron, 1954

Citation:

The Parametron, a logic element using ferrite cores and parametric oscillation, was invented in 1954 by Eiichi Goto at the University of Tokyo. 4,200 parametrons went into the PC-1, Japan's first university-built stored-program computer which became the nation's then-fastest in 1958. The parametron's low cost and electrical stability shaped Japan's early computer development and scientific research, and nurtured the country's first generation of computer engineers.

日本語Title

日本語Citation

日本語版の銘板は作成していない。英語のオリジナルだけが正式版。

贈呈式詳細(開催日・開催場所・贈呈者・受賞者・銘板設置場所等)

2025年11月27日

贈呈式開催 (東京大学 本郷キャンパス理学部4号館 1220号室)



贈呈者: 福田敏夫IEEE プレジデント2020 (左)
東京大学藤井輝夫総長(右)



贈呈者: 福田敏夫IEEE プレジデント2020 (左)
サイトオーナー東京大学大越慎一理学系研究科長(右)



小柴ホール入口壁面に設置した銘板



参加者集合写真

IEEE Milestone 認定の経過:

2025年3月10日 Proposal Form 提出
2025年6月25日 Board of Directors 承認
2025年11月27日 贈呈式開催 (東京大学 本郷キャンパス理学部4号館 1220号室)

贈呈者: 福田敏夫IEEE プレジデント2020

受賞者: サイトオーナーのレターに署名をいただいた東京大学大越慎一理学系研究科長、また東京大学藤井輝夫総長にも参加いただいたので、贈呈式はお二人で二回行い撮影した。

講演: 和田英一 東京大学名誉教授「パラメロン時代の高橋研究室」

Citation に出てくるParametron (カタカナではパラメロンと表記)を発明した故後藤英一東京大学名誉教授と同時期に高橋秀俊研究室に在籍した和田英一東京大学名誉教授に講演を依頼した。和田氏は自らの体験をもとに情報も十分に得られない戦後の研究環境、イギリスのケンブリッジ大学のコンピュータEDSACを知って興味を惹かれ類似のものが作れないかを皆で考えていた当時の研究室の様子、後藤氏のパラメロンの発明でコンピュータが出来るめどが見ついたときの興奮、そして高橋研究室がパラメロンを使って作ったプログラム内蔵方式コンピュータPC-1 (Parametron Computer 1)のハードウェアの調整後に自らが書かれた最初のプログラムが動作したときの感動、また後藤英一氏他の研究室のメンバーの思い出も語られた。



講演中の和田英一東京大学名誉教授



銘板設置場所: 東京大学 本郷キャンパス理学部
1号館 小柴ホール入口の階段横:

小柴ホールは2002年にノーベル賞を受賞した東京大学名誉教授小柴昌俊氏の業績を記念して2005年に建造された。

学会イベントなどで頻繁に利用されるホールに入る際に必ず目にする場所に設置していただいた。

報告書作成: 石川千秋

電子メール: Chiaki.ishikawa@ubin.jp,
ishikawa@yk.rim.or.jp